AUT OMATIC FIRE EXTINGUISHING MECHANISM

Paterat number:

JP58158427

Publi €ation date:

1983-09-20

Inverstor.

KITAMURA KATSUTO

Appli €ant:

SHOWA SPRING KK

Class ification:

- international:

F23Q25/00; F23Q25/00; (IPC1-7): F21V37/00

- european:

F23Q25/00

Application number:

JP19820041406 19820315

Priority number(s):

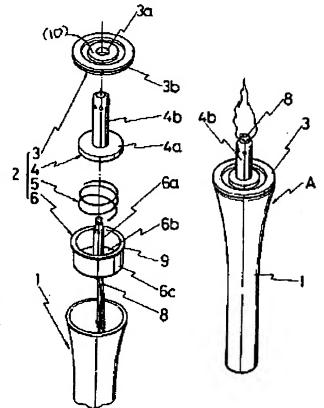
JP19820041406 19820315

Report a data error here

Abstract of JP58158427

PURPOSE:To permit an automatic fire

extinguishing mechanism of an oil lamp and the like to be readily applicable in a small combustion device, by arranging such that a fire extinguishing device may be pushed upwardly by a spring and attractiedly held by a magnet, thereby extingushing a fire when a combustion equipment is inclined. CONSTITUTION: When embodied in a candle type heating device A, a firing section 2 to be received by an upper part of container 1 housing a liquid fuel therein comprises a cover plate 3, a fire extingushing device 4, a spring resilently supporting the device 4, a wick 8 and a supporting base 6. When the heating device A is inclined, the spring 5 is allowed to extend for pushing the device 4 upwardly by arranging such that the device 4 loosely received by a supporting tube 6a of supporting device 6 to be freely vertically movable does not impose its weight on the spring 5. This arrangement can allow the device 4 to be attractedly held by an annular magnet 10 at a disc portion 4a thereof, the magnet 10 being mounted to a reverse side of cover plate 3, thereby wrapping the wick 8 projected from a top end of supporting tube 6a by means of a cylindrical body 4b for extinguishing a fire.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

ルコール等の液体燃料が収納され、肢容器に着 火郎(2)が篏合されている。 肢着火部(2) は蓋休(3)、 消火具(4)、 該 消火具(4)を弾 支 す る ス ブ リ ン グ (5)、 および燈芯(8)及び支持台(6)からなる。故支持台 (6)はシリンダ型で底面(6b)中央に豊志の支持筒 (6a)が复設されている。 該支持筒(6a)の内壁に は帯が設けられ、該帯に母芯(8)を挟持するスプ リング(7)が嵌着されている。支持筒(6a)の先端 は煤が出たいようにアールが付いて曲がり先細 **に形成されている。上記消火具(4)もやはり円板** (4a)の中央に箇体(4b)が貫設されたもので、該 簡休(4b)は支持筒(6a)の外側に遊飯され、鮫俏 火具(4)が支持筒(6a)に沿つて上下動する構成で ある。 該円板(4a)は上配支持台(6)の側面(6c)に 接触するととなく上下動する。点灯時には簡体 (4b)の先端は支持筒(6a)の先端より少し高い位 置にある。上記円板(4a)は鉄、ニッケル等の強 、磁性体で製作されるか、あるいは強磁性体を含 有したブラスチック、ゴム等を用いて製作され る。简体(4b)の材質としては熱伝媒性の高い真

編、網等が留ましく、これらの金属を用いると 液体燃料の吸い上げが良好となる。また、空気 の流通を良くするために支持筒(6a) および筒便 する筒体(4b)の速気孔は、さらに空気の流通を 良くするために支持筒(6a)の通気孔が設けられている。外側に位置 する筒体(4b)の速気孔は、さらに空気の流通を 良くするために支持筒(6a)の通気孔が設けられている高さに帯が刻設され、段帯の奥に穿設 れている。上記支持筒(6a) および筒体(4b) の通 気孔は有る方が望ましいが無くてもよい。

董体(3)の上板の周線部は網部を形成し、該網部が容易(1)の上端に密接するので、 董体(3)の何器(1)とは連続した曲面を形成する。 董体(3)の何器(3)と答答(1)に密嵌合するように アールが付いている。一方、董体(3)の中央には 孔(3a)が穿設され、該孔(3a)から支持筋(6a) および筋体(4b)の上端が突出している。また、董体の傷壁内周線には環状の段部(3c)が設けられ、 該段部(3c)と偶壁(3b)に上記支持台の鍔(9)が当接することにより該支持台(6)は董体(3)に腰吊状態に固定される。

上記ろうそく型盤具が傾いた時には消火具(4)の重量が全面的にはスプリング(5)に併扱し、円板(4a)を押しめ、数スプリング(5)は伸長し、円板(4a)を押上げるので、 蓋体(3)裏面に取付けられた環状の 社石(10)に上記円板(4a)は少し接近し、 該持筒(6c)に で、 大切 で、 支持筒(6a) 先端から突出した を で、 大切 消火 最 で で、 大切 消火 機 構 で で、 大切 消火 機 構 石(10) を 筒 休 (4p)が 費 と する自動 が 水 後 標 石(10) の 後 構 が 本 発 明 の 特 数 と する 自動 新 火 具(4)の 重量 を 変えることにより、 任意に 数定することが できる。

本発明の自動消火機構は種々の燃焼器具に組込むことができる。第6図に示された実施例は商瓶印等の口に嵌め込む盤具であつて燃料容器(1)の側面に係止部が設けられ、瓶の口に固定することができる。第6図の実施例では係止部として段部が設けられているが、他に餌を設けたり、係止部を設けずに、ゴム製の係止具を用いてもよい。西瓶御等が空になつた時は燃料容器

(1)から着火部(2)を取外し、液体燃料を改めて満たした西瓶(1)等に設着火部(2)を飲め込めば、液体燃料を補給しなくても長時間灯をともすことができる。

叙上の如く、本発明の自動消火機構は小規模 の燃焼器にも簡便に組込めることを特徴とする ものである。

本発明は、新規な構成にしてその実用上の効果は著大である。

4. 図面の簡単な説明

第1 図は本発明に係る自動消火機構を組込ん が登具の斜視図、第2 図は眩鏡具の一部切欠分 解料視図、第3 図は蓋体の裏面を示す斜視図、 第1 図は消火具の断面図、第5 図は支持台の断面図、第6 図は盤具の他の実施例を酒瓶の口に 「飯舎した状態を示す斜視図である。

図面符号: (1) … 容器、(2) … 着火部、(3) … 董体、(4) … 前火器、(5) … スプリング、(6) … 支持台、(10) … 電石。

出願人 昭和スプリンク株式会社 代理人 鈴 木 武 夫 木井

